

# 進路

# だより

No. 27

貝塚市立第二中学校  
2013年9月12日発行

保護者の方にも必ず見せてください

## 学校説明会・体験入学等の案内 vol.24

### 公立高等学校等

◎大阪府立岬高等学校 ○体験授業

10/19 (土) 10:00~12:30 学校説明・体験授業

【希望者は実施要項を担任からもらってください。インターネットまたはファックスでの個人申込みになります。申込み期限は10/7(月)まで】

◎大阪府立南高等学校

○体験授業(国語科・英語科)・学校紹介(国語科・英語科・国際交流・進路状況)

修学旅行・研修旅行展示 ・施設見学

10/26 (土) 13:30~16:00

【学校を通しての申し込み期限は10月23日(水)です。それ以降は個人で電話申込みとなります。】

○オープンスクール 11/16 (土) 12:30 受付 13:00 開始

○第2回学校説明会 12/25 (水) 13:30 受付 14:00 開始

○第3回学校説明会 1/25 (土) 13:30 受付 14:00 開始

【以上3つ行事の案内は後日、届きます】

### 私立高等学校

◎金蘭会高等学校 ○オープンキャンパス・体験授業 9/22 (日) 10:00~15:00

【申し込みは、所定用紙のファックスは1週間前まで。電話・ホームページは前日13:00まで。ファックス用紙は担任の先生まで申し出てください。ホームページ <http://www.kinran.ed.jp>】

## 一万時間の法則

先日、東京 FM の「未来授業」というポッドキャスト番組で、脳科学者の茂木健一郎さんと学生との対話学習会の様子が放送されました。この番組は、未来を担う若者たちに贈るラジオの中の授業です。パソコンで聴くこともできます。茂木さんはこの番組の中で、ある法則を紹介しました。

※

「1万時間の法則」という不思議な法則があります。イギリスに生まれ、カナダ育ち、現在はニューヨークに住んで数々のベストセラーを発表している作家マルコム・グラッドウェルがその著書の中で触れて有名になった法則です。それは、どんな分野でも、1万時間やると、能力が開花する。英語でも、プログラミングでも、ヴァイオリンでも、1万時間やれば、かなりのところまでいけるというものです。

あるドイツの音楽学校で、色々なレベルのヴァイオリニストたちを集めて、トータルの練習時間を調べたそうです。すると明らかな差が現れたとか…。そこそこのレベルの人の練習時間が3,000時間や5,000時間だったのに対し、世界一流レベルの人は、およそ10,000時間！

この調査がきっかけで、「ある分野で一流になるためには、10,000時間の練習が必要だ」という説が生まれたのだそうです。

10,000時間というと…1日に3時間やるとしたら約10年間。もちろん根本的な才能の問題はありますが、頑張れば達成できそうな数字じゃありませんか！？

※

茂木健一郎さんがここで主張したのは、才能よりも努力が大切なのだということです。「成功は1%の才能と99%の努力」とはよく聞く話ですが、その努力の目安が、はっきりと1万時間という数字として示されたわけです。イチローの大記録だって、おそらくものすごい練習量から生まれてきたものでしょう。それをこつこつと毎日続けられたかどうか、一流になれるかどうかの分かれ道なわけです。

皆さんの生活は、学校で1日6時間授業です。家庭学習を4時間やれば、1日10時間勉強することになります。そうしたら3年で1万時間の学習になります。ただし、学校の勉強を完璧にクリアするためには、もちろん、授業も家庭学習も真剣にやるのが条件です。

さて、公立後期入試までは残り約180日。1日10時間で、1800時間。もちろん積み上がっている力はゼロではないので、かなりいい感じでこれからも積み上げができますね。積み上げが足りない人でも、これから真剣にやれば、かなりいいところまで行けるとは思いませんか！？

【東京エフエム「未来授業」 <http://www.tfm.co.jp/fes/index.html>】